



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 株式会社GSI 上場取引所 札
コード番号 5579 URL <https://glue-si.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小沢 隆徳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務管理事業部長 (氏名) 原田 裕 TEL 011(726)7771
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,140	3.4	311	△5.5	319	△5.6	208	△9.7
2024年3月期第3四半期	3,037	—	329	—	338	—	231	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 196百万円 (△15.7%) 2024年3月期第3四半期 233百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	104.41	—
2024年3月期第3四半期	121.27	—

(注) 当社は、2024年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,080	2,136	69.4
2024年3月期	3,206	2,096	65.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 2,136百万円 2024年3月期 2,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	53.00	53.00
2025年3月期	—	25.00	—		
2025年3月期（予想）				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,335	7.8	263	△38.1	246	△43.9	144	△53.3	72.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	2,000,000株	2024年3月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	ー株	2024年3月期	ー株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	2,000,000株	2024年3月期3Q	1,906,181株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

[期中レビュー報告書]

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。世界経済においても、全体として緩やかな回復基調ではあるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の緊迫化、中国経済の減速など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

一方で、当社グループの属する情報サービス産業におきましては、デジタル技術の進展・普及に伴い企業の生産性向上や競争力強化を目的とした、IT・DX関連のニーズが一層高まっています。特に、生成AIの業務適用、クラウドシフトの加速、サイバーセキュリティ強化といった分野において、企業のIT投資需要は引き続き堅調に推移しております。

このような環境のもと、当社グループは「中期経営計画(2024年度～2026年度)」に基づき、これまでの開発実績や顧客企業との信頼関係を礎として、引き続き「自社ソフトウェア製品の開発・販売」に取り組むとともに、今後急成長が見込まれる先端技術分野への事業領域の拡大、既存顧客との取引継続および新規顧客の獲得を推進しております。しかしながら、採用環境は厳しさを増しており、必要なIT人材の確保が思うように進まず、厳しい状況が続いております。こうした状況を受け、採用活動の強化に加え、既存社員のスキル向上や働きやすい環境の整備を進め、人材確保に向けた取り組みを実施しております。また、海外からの優秀なIT人材の採用を継続し、協力企業との連携強化やフリーランスIT人材の活用を図るなど、必要なIT人材の確保に取り組んでおります。

加えて、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、「子どもたちの笑顔のために!地球温暖化を防ぐために!」をスローガンに掲げ、困窮するひとり親家庭への食品支援や、地球温暖化対策の一環として「社内フードドライブ活動」を継続しております。また、「札幌SDGs先進企業認証制度」に申請し、社会課題の解決と企業成長の同時実現に向けた取り組みを強化しております。さらに、証券会員制法人札幌証券取引所主催の個人投資家向け会社説明会を開催し、当社の経営状況、業績、将来のビジョン等の情報を透明かつ正確に発信し、投資家の皆様との信頼関係の構築に努めております。

引き続き、収益の多様化・顧客基盤の拡大を図り、さらなる事業拡大と経営の効率化を目指して、IT人材の確保を強化しながら、当中期経営計画を推進しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,140,513千円、営業利益は311,014千円、経常利益は319,819千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は208,819千円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、セグメントの売上高については、外部顧客への売上高を記載しております。

(システム開発事業)

既存顧客との継続取引および追加案件の受注、新規顧客の獲得が堅調に推移しているものの、採用環境は厳しさを増しており、準委任契約や労働者派遣契約によるソフトウェア開発および保守などの常駐開発支援サービスを提供する人員の稼働数が計画を下回っているため、高単価なプロジェクトへの参画や協力企業との連携強化に注力し、IT人材を調達して稼働数を補いました。また、2023年1月に開始した請負契約による受託開発サービスで受注した高齢者向けサービスを提供する顧客の基幹システム刷新プロジェクトにおいて、利用開始に向けた最終工程の対応を開始いたしました。

その結果、売上高は3,107,120千円、営業利益は339,125千円となりました。

(就労支援事業)

各事業所(でじのみ札幌西、でじのみ札幌東、TeCREA千歳)では、クリエイティブ・IT分野に特化した支援を提供しており、利用者数は堅調に推移しております。

このたび、特例子会社として認定され、障がい者雇用の促進と安定に努め、障がいのある方々が社会の一員として活躍できるよう、就労や生産活動の機会を提供し、一般企業への就職を目指す方が必要な知識やスキルを習得できる環境を整えております。また、法定雇用率を満たす企業として社会的責任を果たすとともに、障がい者雇用を通じた社会貢献にも努めております。

その結果、売上高は33,393千円、営業損失は28,111千円となりました。

引き続き、広告やSNSの活用など多様な手法を駆使し、利用者数の増加とサービス向上を図るとともに、障がい者の雇用促進や社会的責任を果たし、全従業員・全利用者が共に働きやすい環境づくりに努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、2,032,883千円（前連結会計年度末比755,517千円の減少）となりました。これは主に、売掛金及び契約資産の増加34,419千円があったものの、現金及び預金の減少794,654千円によるものです。

固定資産は、1,047,666千円（前連結会計年度末比629,720千円の増加）となりました。これは主に、投資有価証券の増加584,082千円、有形固定資産の増加39,888千円によるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、3,080,549千円（前連結会計年度末比125,796千円の減少）となりました。

(負債)

流動負債は、791,509千円（前連結会計年度末比97,953千円の減少）となりました。これは主に、未払費用の増加63,620千円があったものの、賞与引当金の減少91,671千円によるものです。

固定負債は、152,172千円（前連結会計年度末比68,664千円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の減少72,837千円によるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、943,681千円（前連結会計年度末比166,618千円の減少）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,136,867千円（前連結会計年度末比40,821千円の増加）となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少12,180千円があったものの、利益剰余金の増加52,908千円によるものです。

この結果、自己資本比率は、69.4%（前連結会計年度末は65.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月15日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因等によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,141,985	1,347,331
売掛金及び契約資産	522,669	557,089
有価証券	100,050	99,900
仕掛品	9,770	6,172
その他	13,924	22,389
流動資産合計	2,788,400	2,032,883
固定資産		
有形固定資産	257,751	297,639
無形固定資産	1,438	1,549
投資その他の資産		
投資有価証券	37,004	621,086
その他	121,751	127,391
投資その他の資産合計	158,755	748,477
固定資産合計	417,945	1,047,666
資産合計	3,206,346	3,080,549
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,498	71,665
短期借入金	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	119,332	102,670
未払費用	262,669	326,290
未払法人税等	76,352	50,128
賞与引当金	218,091	126,419
役員賞与引当金	5,500	—
その他	98,019	114,336
流動負債合計	889,463	791,509
固定負債		
長期借入金	220,836	147,999
資産除去債務	—	4,172
固定負債合計	220,836	152,172
負債合計	1,110,300	943,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,329	292,329
資本剰余金	198,288	198,288
利益剰余金	1,599,814	1,652,722
株主資本合計	2,090,431	2,143,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,860	△6,319
為替換算調整勘定	△245	△152
その他の包括利益累計額合計	5,614	△6,472
純資産合計	2,096,046	2,136,867
負債純資産合計	3,206,346	3,080,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	3,037,659	3,140,513
売上原価	2,317,833	2,377,725
売上総利益	719,825	762,788
販売費及び一般管理費	390,795	451,773
営業利益	329,029	311,014
営業外収益		
受取利息	2,107	2,519
受取配当金	105	973
助成金収入	3,280	3,258
その他	18,904	3,884
営業外収益合計	24,396	10,635
営業外費用		
支払利息	887	1,780
その他	13,874	50
営業外費用合計	14,762	1,830
経常利益	338,664	319,819
税金等調整前四半期純利益	338,664	319,819
法人税等	107,510	110,999
四半期純利益	231,153	208,819
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,153	208,819

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	231,153	208,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,096	△12,180
為替換算調整勘定	△1,906	93
その他の包括利益合計	2,190	△12,086
四半期包括利益	233,344	196,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,344	196,732
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	9,657千円	14,945千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表計上額(注)
	システム開発事業	就労支援事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,107,120	33,393	3,140,513	—	3,140,513
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,447	1,447	△1,447	—
計	3,107,120	34,840	3,141,960	△1,447	3,140,513
セグメント利益又は損失 (△)	339,125	△28,111	311,014	—	311,014

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。